

# ぼろしり

## 樽前清掃・登山道整備登山

本格的な登山シーズンが6月から始まる樽前山、恒例の七合目ヒュッテ周辺の清掃及び東ピーク、西ピークに至る登山道に張られたロープ補修を5月21日(日)会員13名が参加して行われた。8時に五合目ゲート前に集合。七合目までの観光道はまだ一般開放されていないが、今年も特別な許可を得て、最低台数の車を七合目まで入れた。8時半から3班に分かれて作業開始。12時まですべての作業を終了し、昨年同様、小屋管理人鈴木さんから冷や麦の接待を受ける。



※五合目から七合目ヒュッテまでの観光道は、6月1日より一般車の通行可になった。ただ、七合目の駐車場がいっぱいになると五合目ゲートが閉じる。平日のゲート通過目安は7時半頃。

### 《事業報告》

◆29年度最初の事業 ◆4月23日(日) ワイスホルンツァー(スキー&スノーシュー)



1)が行われ9名が参加した。前日まで春の雨が降り続いてしたが、当日は出発時から少しずつ天候が回復、頂上に達するときにはニセコの主峰ニセコアンヌプリと羊蹄山の雲も取れはじめて、ニセ

コ連峰、積丹連山など360度の展望が広がった。我々だけの静かな山頂かと思ったが、意外や多くの登山者、スキーヤーで賑わった。スキー、スノーシューの参加者共すがすがしい春山の一日を堪能した。担当リーダーは、今回晴天で、始めよければ終わりよし、と言うことわざもあり、「今年このこれからの行事は天候に恵



まれるのでは」と期待のコメントであった。

◆今年の春山合宿はニセコ連峰の縦走となり、5月2日から3日の2日間で行われた。新見温泉から白



樺山を経て、シヤクナゲ岳付近に一泊。長沼、神仙沼を見下ろす贅沢なテン場だった。2日目は、チセヌプリ、ニトヌプリの2山を経由して五色温泉に下山した。2日間とも晴天に恵まれ、リーダーは日焼けに苦しんだようだ。「視界は良好でもスマートなルート取りが難しかった。ニセコ連峰は平坦なようので200m前後の登り返しが有り

### 《例会予定》 開始時間18:30

◆6月4日(日)

6/11 砥石山の打ち合わせ  
6/18 四十三山打ち合わせ

## ◆7月9日(日)

7/30(日) 白老川大星沢打ち合わせ  
8/11 山の日行事打ち合わせ

## 《事業予定》

## ◆6月11日(日) 砥石山

担当：小林正、村中

## ◆6月18日(日) 四十三山

担当：大岡、小林正

## ◆7月30日(日) 白老川大星沢

担当：松原、泉田

## ★お知らせ★

## 《道岳連便り》

## 6/20 「安全登山シンポジウム」 18時〜

場所：エルプラザ3階ホール

## 講演①北海道における山岳遭難の実態

西村和隆

## ②夏山遭難の医療対応「脱水・低体温症」

大城和恵

## ③日本200名山踏破から見えた北海道

山の魅力

田中陽希

## 《インク・ノット》

## ★三角点★

山(頂)を登る我々にいつも付いてくる三角点について今回は考えてみよう。

新田次郎の「点の記」では、最終目的が剣岳に三角点を立てるというドラマだった。陸軍参謀本部陸地測量部がその任務に当たった。現在の国土地理院の前身の一つである国家機関であ

った。

三角点とは、三角測量をする上で、緯度、経度、標高の基準となる点の事を指す。通常三角点は、見晴らしの良いところで測定されるので、見晴らしの良い山頂にあることが多い。ただ、測量した場所の数値なので、そこが山の最高地点と多少ずれることがある。一等三角点は数が少なく、その三角点を目指す登山者が多いのもうなずける。三等以上は三角点には柱石が使われる。この石には主に花崗岩が使われ、測量点の位置に十字が刻まれている。日高山脈主稜線上の一等三角点は、北から芽室岳(芽室岳)、カムイエクウチカウシ山(札内岳)、楽古岳(面射岳)の三山で、( )内は基準点名である。このように山名と測量の基準点名には違いがあることが多々ある。ちなみに三等三角点の札内岳は、基準点名はカムエクと同じ札内岳である。日高の名峰幌尻岳は幌尻、ペテガリ岳(辺天狩岳)、神威岳(神居奴振)となっていて、この三山は、いずれも二等三角点だ。エサオマンの北にあるもう一つの神威岳(三等三角点)の基準点名が神威岳と付けられている。どのような経緯で付けられたかは、点の記を見てみないと分からない。一等三角点は一番重要な点ではあるが、三角点は一等から四等までである。我が国では明治政府が当時は正確な5万分の1の地形図を作るため、全国に三角点網を張り巡らし、東京天文台の経緯度の位置を原点とした測地系基準を「日本測地系」と呼んでいる。しかし、昔の測量技術、計測器、更にここ100年の日本列島

の地殻変動によって基準点網にゆがみを生じて来ていた。そこでGPS(全地球測位システム)等などコンピュータシステムによる位置情報の測定・利用技術の出現に合わせ、世界標準に適應するため日本でも世界測地系に準ずるため、平成13年測量法の一部を改正し、平成14年4月1日から施行された。

三角点は、山だけでなく街中の小高い丘の上にもある。苫小牧市内で一等三角点があるのは、植苗地区の丹治林業の私有地内にある「植苗」、2014.3.13 世界測地の測量がされ、標高は18.64mから18.34mに変更されている。(私有地なので、立ち入る場合は地主の許可がいる) 苫小牧市街地から外れた樽前山麓に三等三角点の基準点名「苫小牧」がある。自分の住む街の点名に行ってみた。樽前五合目分岐より700mほどモラップに下りたところにある林道をたどり、最後はGPSを頼りに探すと灌木の中に三角点の石を見つけた。登山によって頂の三角点に立つのは勿論気持ちの良いものだが、低く、見通しもきかない位置にある三角点でも、山歩きの読図練習にもなり、更に見つけるとうれい。頂上を極めた醍醐味はないが、これはこれで楽しい。三角点の点名などの情報は、国土地理院のHPから見ることが出来る。山に行く前に確かめていくのも楽しみの一つになるかもしれない。先日、GPSの精度を上げる準天頂衛星「みちびき2号」が打ち上げられた。これによってGPSの誤差もこれまでの10mから3mになり、我々山屋の朗報にもなった。